



# 認知症サポーター100万人キャラバン

平成17年度から厚生労働省では「認知症を知り地域をつくる10ヵ年」キャンペーンを開始しています。キャンペーンの一環である「認知症サポーター100万人キャラバン」は認知症について正しく理解し、認知症の人やその家族を見守り、支援する「認知症サポーター」を多数養成し、認知症になっても安心して暮らせるまちを市民の手によってつくっていくことを目指しています。台東区でもこの「認知症サポーター養成講座」を開催しています。

## 認知症は誰にでも起こる可能性があります

認知症とは、頭の働きが低下し、記憶が抜け落ちる等で日常生活に支障を起こす病気のことです。アルツハイマー病や脳の血管の病気などが原因で起こることがあります。認知症は誰にでも起こりうる病気で、年齢を重ねるごとに発症の可能性が高くなります。

認知症を自分のこととして考え、お互いに支え合える社会にしていきましょう。

## 認知症サポーターとは？

認知症の人の応援者です、認知症について正しく理解し、偏見を持たず、認知症の人や家族に対して地域で温かい目で見守るひとです。

## 具体的に何をしますか？

地域で認知症の人が困っているようすが見えたら、「何かお手伝いする事がありますか？」と声を掛けてみましょう。あなたが、理解者であることが伝わります。家族には、介護の大変さを理解してねぎらいの言葉を掛けましょう。

## 認知症サポーターになるには

認知症サポーター養成講座（1時間程度）を受ければ、あなたは認知症サポーターです。受講者にはサポーターの印となるオレンジリングを差し上げます。

サポーターになりたい人が10人以上集まれば、区内どこにでも、キャラバン・メイト（認知症の基礎知識のある人）が出張し、講座を開催します。



## その他

認知症サポーター養成講座の費用は無料です。申込みからキャラバン・メイトの派遣までは1ヶ月ほどかかります。

場所や日時など相談のうえ決定します。介護サービス従事者はサポーターの対象とはなりませんのでご注意ください。

講座の開催を希望される方は、お近くの地域包括支援センターにお問い合わせください。